

In the middle of a large wheat farm, there was a lark living in a nest.

Inside the nest, there were little twins of larks, a boy and a girl.

The season was fall. Wheat heads have grown, covering the farm like a golden carpet.

One day, the mother lark told her little twins, "Listen lovelies, it is now in harvesting season, so if you see a farmer come and say something, please listen and tell me what he says, OK?"

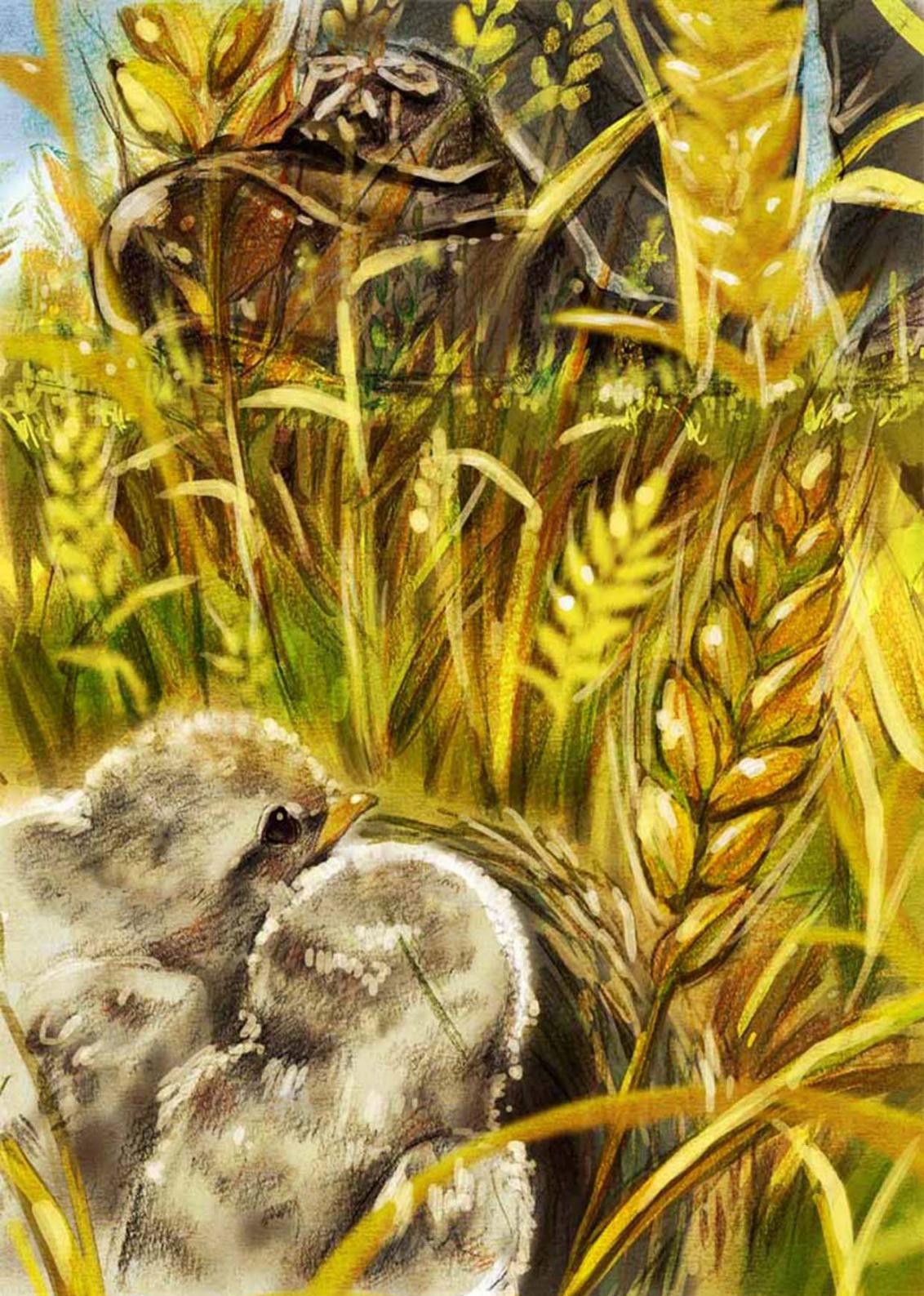
"Yes, mum!"



The next day, the little twins were waiting for their mother. Then a farmer came.

"OK, it seems to be the harvesting season. I am going to ask my neighbors to do it for me tomorrow" the farmer said, while looking around the large wheat farm.

When the mother lark came back to the nest, the twins told her what the farmer said.



ひろい むぎばたけの まんなかに、
 いちわの ひばりが すを つくっていました。
 すには、おすと めすの、
 ふたごの ひなどりたちが いました。

きせつは あき。
 むぎの ほが、はたけいちめんに
 こがねいろの じゅうたんを しいていました。
 あるひ、おかあさんひばりが、
 ふたごの ひなどりたちに いいました。

「いいかい、おまえたち。そろそろ むぎの ほの
 かりとりの じきだから、おひやくしょうさんが
 はたけの ようすを みに きて、なにか いったら、
 ちゃんと きいておくんだよ。そして なんて いったか、
 おかあさんに しらせなさい」

『はーい！』



つぎのひ。

ふたごの ひなどりたちが るすばんを していると、
おひやくしようさんが やってきました。

「さて、そろそろ かりとりの じきだな。

あしたは きんじよの ひとに たのんで、
かりとつて もらうか」

おひやくしようさんは、ひろい はたけを みわたして
いいました。

おかあさんひばりが すぐに もどってくると、
ふたごの ひなどりたちは、
おひやくしようさんの いっていた ことを、
おかあさんひばりに つたえました。

